



わくわく ゆったり 楽しく

ももたろう
活動報告



人生は
楽しいは
砂川書



※ 写真の転載はご遠慮ください。

◆ 主な活動と空き状況
[7月3日現在]

入浴 火 × 金 ×

※ ○は空きがあります

【第1】		【第2】	
月 ×	歌唱指導	月 ×	アート制作
火 ×	手芸 (押絵)	火 ×	手芸 (押絵)
水 ○	歌 手品 ゲーム	水 ○	手芸 (押絵)
木 ○	習字	木 ×	習字
金 ×	生演奏での歌	金 ×	アウトドア
土 ○	レクリエーション ヨガ	土 ○	アウトドア 調理等

9月より訪問介護事業所『ケアももたろう』を始める予定で準備をしています。一対一の対応だからこそ「安心して任せられる、技術力のあるスタッフを」と考え、スタッフの研修には特に力を入れています。お知り合いの方でヘルパー2級以上の資格をお持ちの方がいらっしゃいましたら、どうか紹介して下さい。ご自宅でもいつでも安心して過ごしていただけるよう、全力で取り組んでまいります。

デイサービス
ももたろう

東京都府中市矢崎町 2-3-5

TEL 042-366-5248

FAX 042-366-5239

WEB <http://mtaro.jp>

事業者番号 : 1373801685

『人生は楽しい』の清書は、涙をこらえて

S様 82歳・女性

私は、約6か月前に脳梗塞を起こし、頭を手術することになった。野猿峠の脳外科である。手術のことは何も覚えてはいず、痛くも痒くない数時間を過ごしていたのだそうだ。手術後は物事が忘れっぽくなったし、物事の覚えが悪くなってきた。また、足が上手く運べないことが後遺症として出てきた。

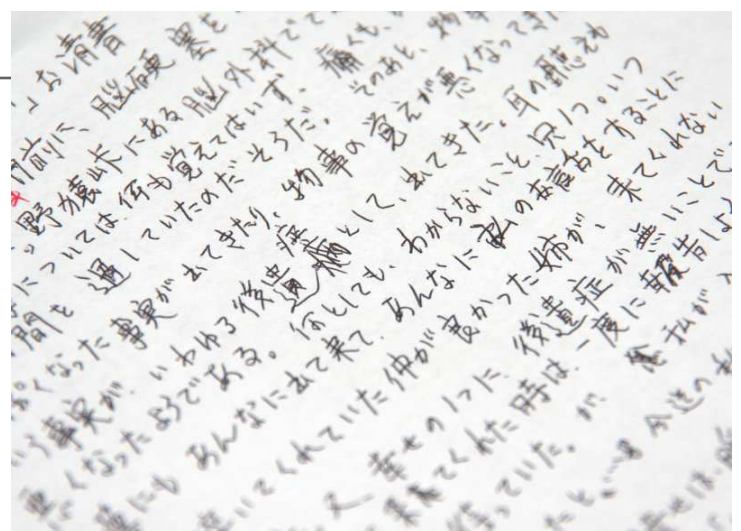
最近ではようやく500m位歩けるようになった私だが、一時は「部屋の壁紙をはがして食べていた」事や、食事もスプーンで1さじずつ娘に食べさせてもらっていた事もあるそうだ。しかし、それは覚えていない。

何としてもわからないことが只一つ。いつの夢にもあんなに出てきて、あんなに私と話をすることに心を砕いてくれた、仲の良かった姉が、見舞いに来てくれなかったことである。姉が会いに来てくれたら、「あれも話そう。これも話そう」と溜めふくらんで待っていた。後に、私が入院している間、姉は病死していたと聞かされた。それまでの私は、毎日が「人生は楽しい」だったのに、私の幸せは瞬時に崩れた。

家の壁に貼ってある『人生は楽しい』の書は、下手ではあるが「人生に満足」、「楽しい」を叫んでいるような形に見える。この字の練習をはじめた時、筆を持って新しい字を書ける幸せに浸り、満足感にあふれていた。その時の字だ。しかし姉の死を聞かされ、急に口惜しい現実の日々。『人生は楽しい』の清書は、涙がこぼれたら恥ずかしいと、涙を見せないようにして書き上げた。

墓は、配偶者の居る鳥取県にある。夜汽車に一泊して、墓参するぞ。

6月の習字は『人生は楽しい』でした。毎週木曜日に練習し、4回目に清書を書き、壁に貼ってあります。このような思いを胸に書いていらっしまったとは知りませんでした。脳梗塞で手術をされたS様。言葉もはっきりと理路整然と話され、どこがお悪いのかわからないほどです。“人生は楽しい”字を書ける日が、一日でも早く訪れる事を願っています。



▲自筆の原稿
※ご本人の談話をもとに、一部加筆・修正しています。